令和7年第1回 蕨市国民健康保険運営協議会会議録

■日 時 令和7年2月6日（木） 午後3時30分～午後4時30分

■場 所 市役所4階 大会議室

■出席者（敬称略）

委 員 植田富美子（会長）、山脇紀子、先崎隆、山野京子、土肥仁美、今野彰比古、
本吉義博

頼高英雄市長

事務局 小柴正樹（市民生活部長）、藤野聡雄（納税課長）、
大山麻美子（医療保険課長）、横田里志（医療保険課長補佐）、
田中緑（医療保険課係長）、川元香乃（医療保険課主査）、
岡崎友理（医療保険課主任主事）
田谷信行（市立病院事務局長）、元井純（市立病院庶務課管理係長）

■次 第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 会長及び会長代理選出
5. 審議事項
 - (1) 議案第1号 令和6年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（案）について
 - (2) 議案第2号 令和7年度蕨市国民健康保険特別会計予算（案）について
 - (3) 議案第3号 蕨市国民健康保険条例の一部改正（案）について
 - (4) 議案第4号 蕨市国民健康保険税条例の一部改正（案）について
 - (5) その他
6. 閉会

■内 容

【1. 開会】

【2. 委嘱状交付】

市長より委員に委嘱状が交付された。また、新任委員の紹介と挨拶を行った。

【3. 市長挨拶】

国保運営協議会委員の皆さんには日頃から国保の円滑な運営にご尽力いただき、また多忙のところ出席していただき感謝申し上げます。

今年度、蕨市では健康づくりに向けて、いくつかの新たな施策をスタートした。带状疱疹ワクチンの助成制度については、約550名の皆様にご利用いただいている。報道のとおり、新年度からは国の方で定期接種されるということになり、対象は65歳以上の方とされている。蕨市の補助制度では50歳以上の方に補助をするということで運営している。蕨市では定期接種はもちろんするが、その対象とならない50～64歳の方についての補助制度は新年度も継続すると考えているので、65歳前に受けようと思っていた方が4月以降は受けられないということはないということを現在アナウンスしている。また、高齢者の補聴器購入費の補助制度も創設したが、こちらは当初30人の予定で予算を計上したが、現時点で既に102名の方が申請をされており、非常に多くの方が必要としている制度であると実感している。申請者にはしっかり対応できるように進めていく。

また、健康づくりの中で蕨市ではウォーキングを推奨しており、埼玉県の「コバトンALKOOマイレージ」に多くの方に登録していただき、楽しく歩きながら健康づくりを進めようということで、12月に「蕨あるこうキャンペーン」というものを実施した。これは市が推奨している1日8,000歩を4日以上というもので、12月の期間中に達成した方には、もれなく500円のデジタルギフトをプレゼントするというものである。少額ではあるが、それまでALKOOマイレージへの登録者は約670名程度であったが、このキャンペーンによって登録者が約1,600人に大幅に増えた。そしてその中で実際に8,000歩を4日以上達成した方が確か1,024名くらいいらっしゃると思うが、1,000名を超える方々が達成し、非常に効果があったので、新年度もこういうキャンペーンをまたやりながら、ウォーキングの輪を広げていきたいと考えている。

また、マイナ保険証への対応については、既にご承知のとおり、12月2日をもって従前の紙の保険証の新規発行が行われなくなった。市に問い合わせもきているが、既に発行している保険証については、有効期限内までは従前どおり使用できるということと、マイナンバーカードを持っていない方、マイナンバーカードは持っているがマイナ保険証の登録はしていないという方については、従前の保険証と同じように医療機関に受診できる資格確認書を、申請することなくこちらから職権で発行するので安心していただきたいといったことを案内している。保険証というのはやはり大事な制度なので、必要な医療にかかれなことがないよう、これからも市としてしっかりと対応していきたいと思う。

本日の審議事項は、令和6年度の補正予算、令和7年度の国保の当初予算（案）、そして国民健康保険条例の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正の4件である。新年度予算の中でも特に力を入れている特定健診の受診率をさらに向上させるため、いくつか新たな取り組みを実施していこうということで、医師会の先生方のご協力、受診期間を今までの10月末から1月まで3ヶ月延長して長い期間で受診をできるようにするというのと、あとは日曜日にも健診できる機会を設けるということ。既に戸田中央総合健康管理センター

が検討しているものだが、そこに参加させていただくことや、できれば市立病院も日曜健診できないか検討していく。

そして、費用については、非課税世帯は無料、課税世帯は1回800円の自己負担があるが、これを課税世帯・非課税世帯問わず無料で受けられるようにする。その他いろいろ早期キャンペーン等があるが、新年度は特定健診の受診率をさらに向上させようということで、取り組んでいきたい。

国民健康保険条例の改正については、植田会長に市立病院整備検討審議会に参加いただいているが、蕨市立病院の移転建替えに向けて色々取り組みを進めて、基本構想・基本計画の策定作業を進めているところで、実は、国保の保健事業を実施する病院として市立病院を位置づける、いわゆる国保の直診病院として位置付けようというための条例改正の準備をしている。これは、国保以外の方も従前どおりかかれるので、市民の皆さんとしては対外的には何ら変わらず、今まで通りかかれるものであるが、国保の保健事業に、より連携をして取り組むと、運営上、市立病院としても様々なメリットがあるということもあり、こういう条例案の改正準備を、今日の議題として説明する予定である。

税条例のほうは、毎年度末に行っている、いわゆる課税限度額についてである。国の方で改正され、蕨市はそれの一年遅れで限度額の引き上げを行っている。いずれも非常に重要な案件であるので、慎重にご協議をいただきたい。ぜひ今後も、審議委員の皆様には、国保の円滑な運営に、引き続きお力添えをいただきけるようお願い申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたしたい。

【4. 会長及び会長代理選任】

立候補なしのため、事務局案として植田会長を提示し、承認された。また、会長代理は田村委員が選任され、承認された。

会長挨拶

埼玉県の国保協議会の副会長を仰せつかっているが、どこの市町村でも難しい問題があると聞いている。新しいメンバーに2人入っていただいたので、新鮮な意見で思ったことを発言していただきたい。

【5. 審議事項】

(1) 議案第1号 令和6年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算(案)について

上記のことについて事務局から説明した。

(「議案第1号-1 歳入総括表」、「議案第1号-2 歳出総括表」、「議案第1号-3 歳入事項別明細書」、「議案第1号-4 歳出事項別明細書」参照)

議案第1号資料のとおりとすることです承された。

(2) 議案第2号 令和7年度蕨市国民健康保険特別会計予算(案)について

上記のことについて事務局から説明した。

(「議案第2号-1 資料2 令和7年度蕨市国民健康保険特別会計予算案(概要)」、「議案第2号-2 資料2-2 特定健診 R7年度からの変更点」 「議案第2号-3 参考資料」参照)

次のとおり質疑応答を行い、議案第2号資料のとおりとすることで了承された。

委員： 納付金はどのような原因で増となったのか。

事務局： 県全体での保険給付費の見込みが増えたこと、被保険者数の見込みが増になったことである。

委員： 令和6年度と令和7年度の被保険者数は。

事務局： 県の見込みでは、令和6年度は15,631人、令和7年度が15,755人で、0.8%増。昨年度から一時的に滞在する外国人が増えたため県の見込みは増となっている。

委員： 特定健診について、対象は何パーセントで設定しているか。

事務局： 予算上の目標は47%。

委員： 特定健診の変更内容について、詳しく説明してほしい。

事務局： ①受診者負担金の廃止

全員無料で実施することとした。

②実施期間の延長

医師会と調整し、実施期間を10月末→1月末に延長

③日曜健診の実施

戸田市中心総合健康管理センターにて10月に1回実施予定

蕨市立病院は検討中

④早期受診者キャンペーンの対象者拡充

「初めて・久しぶり・3年以上連続受診」も県交付金の対象になるので対象を広げて抽選で300名にグッズをプレゼントする予定。

⑤受診勧奨の拡充

AIを活用したレセプト分析や過去5年以上の健診データを分析した内容に基づき、7パターンに分類して通知・SMSで送付予定。

⑥市立病院 電話予約時間の拡充

R6年度は10月に延長実施

R7年度は前向きに検討中

委員： 特定健診の対策が、受診率向上に数字的にどれくらい寄与するか。目標設定は。

事務局： R5年度法定報告値が38.1%なので、2%ほど向上できれば。

(3) 議案第3号 蕨市国民健康保険条例の一部改正(案)について

上記のことについて事務局及び市立病院事務局から説明した。

(「議案第3号-1 蕨市国民健康保険条例の一部改正(案)」「議案第3号-2 蕨市国民健康保険条例の一部改正について」参照)

次のとおり質疑応答を行い、議案第3号資料のとおりとすることで了承された。

委員： 医療器具等の整備費用に助成金額はどれくらいもらえるか。上限は。国保直診の指定を受ければ電子カルテを導入できるのか。また、会計は今まで通り企業会計なのか。

事務局： 医療機器に関しては基準額に対して3分の1、実際にももらえる金額は275万円の予定。電子カルテに関しては、4,000万円を上限に補助が出る可能性がある。会計については変更なし。

市立病院が国保直診という位置づけになれば、国保と連携してできることは積極的にやらせていただきたい。日曜日の受診や受付時間の延長についても視野に入れている。

委員： 新病院の開院はいつ頃か。

事務局： 基本構想・基本計画では、令和10年度に建物が完成し、11年度に移転予定としている。

委員： 診療科は現在と同等か。

事務局： 今の診療科をベースに考えている。

(4) 議案第4号 蕨市国民健康保険税条例の一部改正(案)について

上記のことについて事務局から説明した。

（「議案第 4 号 - 1 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）」「議案第 4 号-2 蕨市国民健康保険税条例の一部改正（案）新旧対照表」「議案第 4 号-3 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について（課税限度額）」参照）
議案第 4 号資料のとおりとすることです承された。

（5）議案第 5 号 その他について

上記のことについて事務局から説明した。

（「議案第 5 号 資料 5 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について（軽減判定）」参照）

議案第 5 号資料のとおりとすることです承された。

【6. 閉会】

本日の議題については全て終了した。以上をもって、本日の「蕨市国民健康保険運営協議会」を閉会する。

以上